

和

会期/ /1月29日~12月20日 (22 日間)

議案16件、 発議3件を審議しました。

主な議案

議案第151号 圧原市企業版ふるさと納税基

事業に要する経費の財源に充 を制定しようとするもの 寄附金を、市が実施するまち てることを目的として、 ・ひと・しごと創生寄附活用 企業版ふるさと納税による

【付託先】

企画建設常任委員会

説明員の出席のもと審査を行 【委員長報告】 12月2日に委員会を開催し、

自動車の購入事業が予定され ているとの答弁があった。 事業と、公用車としての電気 指定事業について質疑があり、 指定事業は、キャッシュレス 2件の寄附の、それぞれの

> 採決を行い、採決の結果、賛 成全員で可決すべきものと決

庄原市国民健康保険条例の一 議案第152号

部を改正する条例

額が見直されたことに伴い、所 要の改正を行おうとするもの 正により、出産育児一時金の 健康保険法施行令の一部改

▽原案可決

議案第153号

管理条例の一部を改正する条 庄原市ごみ処理施設設置及び

の名称及び位置を変更するた ごみ処理施設の集約化に伴 処理計画区域並びに施設 所要の改正を行おうとす

質疑を終えて、挙手による

▽原案可決

12月16日に委員会を開催し、

あった。 り、11月19日の本会議におい 指名するに至ったとの説明が えた上で、サンヒルズ庄原を て可決された附帯決議を踏ま 委員会において、執行者よ

次の 5 項目について質疑が

施設整備や今後の施設管

るもの

▽原案可決

議案第163号 指定管理者の指定について

るもの 指定管理者を指定しようとす の郷 ラ・フォーレ庄原)の 庄原市交流宿泊施設(桜花

【付託先】

企画建設常任委員会

【委員長報告】

った。 説明員の出席のもと審査を行

あった。

サンヒルズ庄原の組織体

2. サンヒルズ庄原が行って 制や自主事業について ザリー契約について いる専門家によるアドバイ 収支計画について

理に係る経費負担について 指定管理者の指定の方法

これまでの経営において、日 ったことに納得ができない。 か。3年の指定期間に対して、 1年分の収支計画で審査を行 意が得られにくいのではない 公募をしないことは、市民合 質疑の中で、委員からは、

しいのではないかとの意見が 点がないと、今後の運営は難 くが、内部での改善を図る視 本郵政への手数料が多額であ るなど、外部要因ばかりを聞

おり可決すべきものと決した。 採決を行い、採決の結果、可 するところにより、原案のと の規定に基づき、委員長の決 議会委員会条例第17条第1項 否同数であったため、庄原市 質疑を終えて、挙手による

▽原案可決

会や関係省庁に提出し、その 実現を図るよう求めました。 次の意見書が可決され、 玉

発議第10号

核兵器禁止条約への署名と批

准を求める意見書

を担うことを強く求めるもの の実効性を高めるための役割 止条約へ署名・批准し、条約 日本政府が早期に核兵器禁

▽原案可決

発議第11号

歯科医療の実現を求める意見 善によって、保険でより良い 保険適用範囲の拡大、患者窓 口負担の軽減と診療報酬の改

置を講じるよう求めるもの 切な歯科医療が受けられる措 を図り、安心して良質かつ適 負担の軽減、診療報酬の改善 保険適用範囲の拡大と窓

▽原案可決

発議第12号

求める意見書 米価下落に対する緊急対策を

うことを強く要望するもの 守るために、国が責任を持っ 経済、主食用米の安定供給を て米価下落への緊急対策を行 の中で、農業者の経営と地域 コロナ禍という危機的状況

▽原案可決

12月 定例会

令和3年度 一般会計・ 特別会計等補正予算



令和3年度一般会計補正予算

	会計名	補正額	補正後の総額
議案第157号	庄原市一般会計補正予算(第6号)	3億2,307万2千円追加	
議案第164号	庄原市一般会計補正予算(第7号)	2億2,552万円追加	25/1座0 220〒04m
議案第165号	庄原市一般会計補正予算(第8号)	7,902万3千円追加	354億8,329万8千円
議案第166号	庄原市一般会計補正予算(第9号)	2億2,493万3千円追加	

一般会計補正予算の主な内容

	事業名【補正額】	補正内容
	情報格差是正事業 【181万5千円追加】	比和デジタルテレビ中継放送局の通信機器の故障に伴う修繕費に ついて、運営協議会への負担金を追加計上するもの
	乳幼児等医療費公費負担事業 【720万3千円追加】	乳幼児等医療費の給付見込みの増により追加計上するもの
	新型コロナウイルスワクチン接種事業 【4,202万9千円追加】	新型コロナウイルスワクチン接種の3回目追加接種に係る費用を 追加計上するもの
	有害鳥獣防除事業 【937万2千円追加】	有害鳥獣捕獲奨励金及び捕獲委託料を追加計上するもの
 議案第157号	社会資本整備総合交付金事業 【997万7千円追加】	市道上原戸郷線と市道西新町板橋線において改良工事に必要な用 地を前倒して購入するもの
	現年農地災害復旧事業 【6,172万3千円追加】	高野地区を主に緊急性が高い農地27カ所の豪雨災害復旧に係る 工事請負費等を追加計上するもの
	現年農業用施設災害復旧事業 【6,176万9千円追加】	高野地区を主に緊急性が高い農道6カ所と水路13カ所の豪雨災害 復旧に係る工事請負費等を追加計上するもの
	現年林道災害復旧事業 【994万5千円追加】	緊急性の高い東城町粟田の林道2カ所の豪雨災害復旧に係る工事 請負費等を追加計上するもの
	現年公共災害復旧事業 【1億7,127万5千円追加】	高野地区を主に緊急性が高い河川2カ所と市道15カ所の豪雨災害 復旧に係る工事請負費等を追加計上するもの
議案第164号	子育て世帯臨時特別給付事業 【2億2,552万円追加】	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援 することを目的に対象児童1人当たり現金5万円の先行給付を令 和3年中に開始するため所要の補正を行うもの
議案第165号	かんぽの郷施設取得等事業 【7,902万3千円追加】	桜花の郷ラ・フォーレ庄原のリニューアルオープンへ向けた準備 経費及び施設改修等に要する経費について所要の補正を行うもの
議案第166号	子育て世帯臨時特別給付事業 【2億2,493万3千円追加】	議案第164号による現金5万円の先行給付分に新たに5万円を加えた10万円を、現金一括として令和3年中に給付を開始するため所要の補正を行うもの

●令和3年度特別会計・企業会計補正予算

	会計名		補正額	補正後の総額
議案第158号	庄原市国民健康保険特別会計補正予	予算(第1号)	3億4,528万3千円追加	42億2,078万1千円
議案第159号	庄原市後期高齢者医療特別会計補正	E予算(第1号)	119万2千円追加	6億8,247万3千円
議案第160号	庄原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	2,759万5千円追加	63億5,243万4千円
議案第161号	庄原市農業集落排水事業特別会計補.	主原市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)		3億8,491万9千円
		(収益的収入)	849万1千円追加	13億9,407万2千円
 議案第162号	庄原市国民健康保険病院事業会計	(収益的支出)	10万円追加	13億8,568万1千円
	補正予算 (第2号)	(資本的収入)	320万円追加	1億9,835万1千円
		(資本的支出)	327万8千円追加	2億3,176万9千円

令和3年12月

定例会議決結果

議決日	種類	番号	事 件 名	議決結果
		152	庄原市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決(全員賛成)
		153	庄原市ごみ処理施設設置及び管理条例の一部を改正する条例	原案可決(全員賛成)
11月29日	議案	154	指定管理者の指定について〔庄原市上野総合公園〕	原案可決(全員賛成)
		155	指定管理者の指定について〔庄原市ひば道後山高原荘〕	原案可決(全員賛成)
		156	指定管理者の指定について〔庄原市鮎の里公園〕	原案可決(全員賛成)
12月13日	議案	164	令和3年度庄原市一般会計補正予算(第7号)	原案可決(全員賛成)
		151	庄原市企業版ふるさと納税基金条例	原案可決(全員賛成)
		157	令和3年度庄原市一般会計補正予算(第6号)	原案可決(全員賛成)
		158	令和3年度庄原市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全員賛成)
		159	令和3年度庄原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全員賛成)
	議案	160	令和3年度庄原市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決(全員賛成)
		161	令和3年度庄原市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決(全員賛成)
12月20日		162	令和3年度庄原市国民健康保険病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決(全員賛成)
12/1201		163	指定管理者の指定について〔庄原市交流宿泊施設〕	原案可決(賛成多数)
		165	令和3年度庄原市一般会計補正予算(第8号)	原案可決(賛成多数)
		166	令和3年度庄原市一般会計補正予算(第9号)	原案可決(全員賛成)
		10	核兵器禁止条約への署名と批准を求める意見書	原案可決(賛成多数)
	発議	11	保険適用範囲の拡大、患者窓口負担の軽減と診療報酬の改善 によって、保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書	原案可決(全員賛成)
		12	米価下落に対する緊急対策を求める意見書	原案可決(全員賛成)

議案第163号 指定管理者の指定について〔庄原市交流宿泊施設〕

反対討論

【谷口隆明議員】【前田智永議員】【松本みのり議員】









【吉川遂也議員】【政野太議員】【五島誠議員】







議案第165号 令和3年度庄原市一般会計補正予算(第8号)

反対討論

【谷口隆明議員】

【松本みのり議員】





賛成討論

【林高正議員】



発議第10号 核兵器禁止条約への署名と批准を求める意見書

反対討論

【横路政之議員】



賛成討論

【谷口隆明議員】





録画映像 スマートフォンやタブレット端末の専用アプリでQRコ· ードを読み取ると、 (YouTubeにより配信)が視聴できます。

> おいて、指定ごみ袋に、 組み等が議論されている。

1袋の処 本市に

埋にかかる費用を印刷することで、

ュートラルの実現に向けての取り

暖化対策としてカーボンに 地球規模で起こっている温

ものもある。 **な啓発を行う。** 向け、行政回覧やホームページに 処理費用を掲載するなど、 どごみ袋の消費には期間を要する 今後は、更なるごみの減量化に ごみの処理費用は毎年変動 するものであり、 また、 効果的

指

指定ごみ袋を活用した ごみの減量化につい

7

絡手段として「LINE」を利用 が増加傾向にある。一番身近な連 ことにより、全国的に虐待・DV

た相談体制を実施してはどうか。

休校で子どもの在宅時間が増えた

て、ストレスの増加や コロナ禍の自粛期間にお

一斉





だる 横路 まさゆき **政之** 議員

その他の質問

○地域気象防災支援のための気象 庁等による取り組みについて

されていない状況である。 ともに、先行事例の成果や課題等 考えが示されているが、機密性を ている。その中では、広報業務な を見極めていきたいと考えている。 点から県内他市町においても実施 おいては、セキュリティ対策の観 有する情報を取り扱う相談業務に 用におけるガイドラインが示され と情報発信については容認される LINEを利用した相談体制に 国からLINEサービス利 上の懸念が報じられたこと L-NEの個人情報の管理 LINE社や国の動向と

むべきではないか。

上を図り、ごみの減量化に取り組 ごみの減量に対する市民意識の向

> 子どもに対する虐待 DV対応につい



ふとし **太**議員

鼓野

本市の持続可能な

農業振興につい

7

る農家収入の増加にも効果のある の有効活用、 長の見解を伺う。 方策である。その仕組みづくりを 行政が推進すべきと考えるが、市 課題でもある、耕作放棄地 自給飼料の確保は、 あるいは二毛作によ 本市の

が想定される。 生産・収穫機械の導入などの課題 産するほ場の鳥獣被害防止対策や、 産経営に有効な手段であるが、牛 畜産農家への引き渡し方法のほか、 自給飼料確保の仕組みづく りについては、 安定した畜

農家の皆さんの意見も伺いながら、 図るため、 有効な仕組みを研究していく。 営に向け、こうした課題の解決を 市としては、持続可能な畜産経 市内の耕種農家や畜産

地域とともに歩む 本市の教育振興について

う。 り、市内の全小中学校に設置すべ り組みが重要である。学校運営協 らず、地域社会との協働による取 きと考えるが、教育長の見解を伺 議会はその役割を担うツールであ 化しており、学校、保護者のみな や課題は、複雑、 子どもたちを取り巻く環境 かつ多様

学校における働き方改革

取組方針につい

7

目的の理解を深めながら、 する学校運営協議会制度の趣旨や 学校と東城中学校の取り組みから、 入する方向で検討していく。 から本制度を市内全小中学校に導 その必要性について認識している。 今後は、保護者、地域住民に対 令和2年度から学校運営協 議会制度を導入した庄原中 次年度

れているのか伺う。

いて、どのように把握され対策さ

その他の質問

〇本市の観光施設の在り方につい 〇本市の特産品づくりについて

ら単純な比較はできないが、 5月を一斉臨時休業としたことか 時間だった。令和2年度は4月

割の学校が目標としている45時間

以下となっている。

っているかの把握は困難な状況で

❷教員がどれだけ業務を持ち帰



とよひこ **豊彦** 議員

の中で取り組みを計画的、 があるため、引き続き、

ずえだ 宇江田

教職員が子供の指導や教育活動に に行うよう働きかけるとともに、

意欲をもち業務遂行できるよう努

職員の安全衛生推進につい

7

退職の実態と対策について伺う。 念される。職員の長期休職や早期 制や休暇、労働安全衛生等に大き 通常業務と重なり、職員の勤務体 問 な影響を生じさせていることが懸 対策など、急を要する取り組みが 新型コロナウイルス感染症 昨今、頻発する豪雨災害や

伺う。

0

「持ち帰り仕事」の実態につ

取組方針」が機能し、学校現場に

●庄原市教育委員会策定の 「学校における働き方改革

おける勤務実態が改善しているか

年は横ばいで推移している。 2年度では7名となっており リングなどの取り組みを毎年実施 実施や、総務課保健師による相談、 産業カウンセラーによるカウンセ している。休職者の状況は、 は、 職員の安全衛生に関して メンタルヘルス研修の 令和

間外の在校時間の平均は8%減少

令和2年度の月平均は3・9

比較すると、市全体では、

、勤務時

令和元年度と令和2年度を ●「取組方針」を策定した

婚、転職などの様々な理由である。 年度では13名で、家庭の事情や結 によりばらつきがあるが、 職員の早期退職の状況は、 令和2 年度

在校時間 効率的

あるが、できるだけ縮減する必要



國利

知史 議員

アフターコロナを見据えた 本市の観光施策について

解を伺う。 を強化していくべきと考えるが見 林を有し、 高まっている。本市は、広大な森 える上で、アウトドアによる観光 ていることから、今後の観光を考 しめるアウトドアの人気が コロナ禍により、 里山の風景も多く残っ 屋外で楽

い次のの 施設を対象に現地調査などを実施 各施設の活用・整備方針を作 本年度、 方針に沿った取り組みを年 計画的に進める予定として たる見公園」等の屋外体験 市が設置する

の森」や「備北オートビレッジ」 を図りながら、 などもあり、これらの施設と連携 ア施設利用者の誘客を進めていく。 市内には「ひろしま県民 さらなるアウトド

本市における ドローンの活用について

て伺う。 用実績や効果、今後の計画についを目指してきたが、ドローンの活 活用による市内産業の生産性向上 啓発セミナーやドローン操縦技術 講習会などを実施している。また、 般財源を投入しドローン技術の ンを購入し、ドローン活用 本市は国の補助金でドロー

|全||主こ肋回最ジャー・ 野で活用している。 イベントの周知、被災状況等の調 広報用の素材集など幅広い分 主に動画撮影を行い、観光

ドローンに触れていただく機会を の出前トークなど身近なところで 小型ドローンは、 さらにドローン教室用に導入した 創出している。 散布の受託作業で活用しており、 次に産業用ドローンは、 市内小学校から 除草剤

用策を検討していく。 ション協議会」を中心に有効な活 原グローバル・ドローンイノベー 5つの事業者と「ドローン災害協 2年8月に、市内に事業所を置く 定」の締結に至った。今後も「庄 取り組みの効果としては、 令和



鳥獣被害防止対策及び庄原ジ

ビエの積極的なPRについて

頭数が増えるなか、その年齢や性 分析されているのか。また、捕獲 害状況や推移をどのように把握し、 生息域の分析はされているか 話を頻繁に聞く。近年の被 ●農家の方から鳥獣被害の

味が良く、庄原の誇れる食材の また、食肉処理された猪は大変食 か、現状の設備で対応できるのか 有害鳥獣処理施設によって食肉加 ヒエ普及についての考えを伺う。 **上されている。捕獲数が増えるな** つとなりうると考えるが、庄原ジ ❷捕獲されたイノシシの

える被害が報告されている。 令和2年度では3200万円を超 害額は、 ●本市における近年のイノ シシ等による農作物への被 増加傾向に転じており

a5 や **遂也** 議員

ないが、 るものと考えている。 るとの見解を示しており、 増加に加え、生息域が拡大してい より、幼獣が淘汰されずに成獣と 雪量や積雪期間が減少したことに も被害を及ぼしている状況がある。 面や公園緑地など、農作物以外に ることから、生息数が増加してい 頭数が増加し、被害が拡大してい おいても、近年、 なって繁殖することで、 り、畦畔や水路のほか、 農林水産省は、 イノシシの掘起こしによ 被害額には計上されてい 近年の暖冬で積 イノシシの捕獲 個体数の 道路の法 本市に

頭数は464頭で、施設整備当初 しており、 きたいと考えている。 後の搬入頭数の推移を見極めてい 受け入れを断ることなく市内全域 の想定を上回る状況となったが、 イノシシ肉は「庄原猪いちばん」 からの受け入れに対応している。 また、当施設で食肉加工された 新たな施設整備については、 ②令和2年度のイノシシの受入 販売額は毎年増加して 道の駅たかの等で販売

き続き、普及拡大に努める。 して活用することとしており 今後はふるさと納税の返礼品と 31



調べ

がかける。

庄原市の学校教育における

教職員の一CT環境の整備 教育振興について

処理・管理など効率的な業務遂行 徒の学籍や出欠席の管理、 らなる活用について伺う。 ステムである「統合型校務支援シ につながっている。 ステム」を導入したパソコンを整 メール機能をはじめ児童牛 情報を統合的に管理するシ 本市では、 教職員に様々な 成績の

この内容を含めたものにできない いないため、次回の更新時には、 に関する管理は行うことができて 童生徒の健康診断などの保健業務 しかし、 現在のシステムでは児

今後も先進的な取り組みをして 検討している。

> じて、授業や学校行事などで有効 活用できるよう、工夫・改善を行っ 庄原市立学校適正規模

いる学校や実践例の紹介などを诵

のか。 証)及びA(改善・見直し)につ 現在、それらの学校ではDCAに いて、どのように取り組んでいる あたると考えるが、C(評価・検 載されているRPDCAについて、 既に統合された学校がある 教育振興基本計画に記

教職員の支援につながると考える

本市の現状と課題、今後のさ

れらは子どもたちだけではなく、

活用が進められている。こ

聞くと、 安心されている様子が伺える。 がある。 して成長できるような学校づくり のみならず様々な学びや体験を通 い環境にも慣れてきた生活をして など、前を向いて躍動している姿 これまでにない学びや体験をする これからも、教科の勉強のこと 子どもや校長からの聞き取 りによると、子どもたちが また、保護者からの声を 友達が増えた喜びや新し

因・内容を分析・検証し、 法を検討する。 また、課題がある場合、 その要 改善方



ひろおみ **泰臣** 議員

とくなが **徳永**

適正配置基本計画について

R芸備線の利用促進について

が高まり、存続を願っている。 利用促進策を沿線自治体や住民と 協議したいとの意向を明らかにし くなるかもしれない」と危機意識 地域の皆さんは、 JR西日本は利用が低迷す る芸備線の運行の在り方や 「鉄路が無

ッピング列車の運行が開始された。 の皆さんの力によって、カープラ 巾としても、その有効活用につい C積極的に取り組むべきと考える ●JR芸備線の存続を願う多く 見解を伺う。

今後の利用促進の方針について伺 ❷サイクルトレインの導入など

5年3月まで運行される予定で と福塩線の塩町―府中間を、 ●カープラッピング列車は 芸備線の広島―備後落合間

> られていると伺っている。 けた機運醸成に大きく貢献してい 沿線住民の皆さんの利用促進に向 あると考える。 組みが必要となるほか、県や関係 の観光振興計画の一環として進め 本格実施に至っている。 ンは、社会実験の結果を踏まえて 有効な活用策を検討していく。 目治体と連携して取り組む必要が 本広島支社と協議・調整しながら ただけるものと期待している。 んの思いに応えるべく、 芸備線で、まずは実験する取り ❷きのくに線のサイクルトレイ 本市としても、 協力された皆さ また、 J R 西 日



- プラッピング列車

〇市役所本庁舎前駐車場について 〇地域生活交通について その他の質問

見守りサービス」、「自治振興区活

東城地域で運用されている「児童

動でのポイント付与」を市内全域

拡大することを検討されている。 今後においても、庄原市キャッ

ャッシュレス以外の活用として、

主体となり実施されているが、 キャッシュレス決済推進協議会が

+

シュレス決済推進協議会におい



を え 智子 議員 が出

開していただくとともに、

市とし

ても企業版ふるさと納税を活用し

た支援を予定しており、

いざなみ

カードの活用促進に協力していく。

7

カード機能を使った事業を展

庄原市役所西城支所の

いざなみカード(愛称なみか)

の活用促進について

過しており、防災の観点からも市 支所は、 建築物として指定されている西城 耐震改修促進計画について 進計画」において防災拠点 建築後かなりの年数が経 第3期庄原市耐震改修促

着実に進めていく。 との方針を打ち出した。市として 改修又は建替え、移転に取り組む」 耐震改修促進計画に掲げた方針に 欠であると認識しており、 を行い、「令和7年度までに耐震 所庁舎の耐震化に向けた計画策定 西城支所庁舎の耐震化は不可 「第3期庄原市耐震改修促 進計画」において、 実施に向けた取り組みを 西城支 庄原市



公共交通について

経過した。 本年5月に策定され半年が 庄原市地域公共交通計 画が

善点は何か伺う。 えて本計画が実施されているが ワーク再編計画実施の総括を踏ま この総括を踏まえた最大の政策改 ●第2期庄原市生活交通ネット

くりの形成のためにも早急に対応

民が安心・安全に暮らせるまちづ

すべきと考えるが、今後の対応に

がされているが、今後の市全域へ 東城町を中心に先進的な取り組み なる事業展開が求められる。現在、

によるいざなみカードには、さら ヤッシュレス決済導入支援事業

事業にも掲げられている「キ **庄原いちばんづくりの重点**

の活用促進について市長の見解を

ついて市長の見解を伺う。

カードの活用促進や利用者

の拡大については、

だが、本計画策定後の具体的な取 り組み状況について伺う。 地域情報を詳細に把握している自 治振興区の積極的な関与が不可欠 人)を有効に実施するためには 生活交通・地域旅客運送サービ ❷公共交通政策(地域公共交通

えた移動ニーズへの対応や持続可 み等を踏まえ、日常生活圏域を越 能な区域運行制度への見直しを行 ●「庄原市地域公共交通計 一では、 前計画の取り組

> とした。 た交通の検討などに取り組むこと うとともに、新たな技術を活用し

も取り組んでいく。 基づき、新たに、観光客が目的地 律」に基づく法定計画として策定 通の活性化及び再生に関する法 を訪れやすい交通の確保や介護予 しており、国が定めた基本方針に 防・健康づくりとの連携について なお、この計画は 「地域公共交

取り組んでおられる。 催やボランティアによる無料送迎 るほか、交通に関する勉強会の開 市民タクシー制度の運営や自家用 など、自治振興区独自の活動にも 交通施策にご協力をいただいてい 有償運送の運行など、本市の生活 ❷自治振興区には、これまでも

においても、自治振興区と連携し 地域の実状に応じた施策を検討 今後、策定する地域別実施計画





たかあき

たにぐち

2050年二酸化炭素排出ゼ 地方公共団体

実行計画の策定を 口を目指して、

を表明する考えはないか。 50年二酸化炭素排出実質ゼロ 基本理念に沿って、「20 ●地球温暖化対策推進法の

用などが考えられるが、市として 重点的に促進する考えはないか。 ❷自然条件を生かした小水力発 太陽光発電、バイオマスの活

体で、 削減とともに、 目指す。」と明記している。 を見込みつつ、2050年に国全 - 市内のエネルギー消費量の 温室効果ガス排出のゼロを 方公共団体実行計画におい ●庄原市地球温暖化対策地 今後の技術革新等

質ゼロ」いわゆる、 きたいと考えている。 シティ宣言についても検討してい - 2050年二酸化炭素排出実 ゼロカーボン

> ては、 を図っていく。 今後も再生可能エネルギーの推進 ネルギー源として利用するなど、 空調設備などを導入している。 共施設へ太陽光発電設備を設置 トボイラーや地中熱を利活用した 現在建設中の新焼却施設におい ❷本市はこれまで、市所管の公 市役所本庁舎では木質ペレッ 焼却熱を空調設備等の熱工

この冬の緊急生活 経済独自支援について

考えはないか。 援や福祉灯油などの支援策を行う じられるが、米価下落への独自支 支援に特別交付税措置が講 福祉灯油など自治体の独自

保険制度の周知に努める。 少影響緩和交付金や農業経営収入 米価下落による収入減少に 対する支援として、 収入減

点を持って慎重に検討していく。 活全般に影響しており、様々な視 また、原油価格の高騰は市民生

その他の質問 〇市長は、インボイス制度の導入 中止の先頭に



発し

ふじわら **藤原**

令和4年度の予算編成と 執行体制等につい

7

考えを伺う。 付金の執行状況を踏まえた市長の 不可欠であるが、地方創生臨時交 き続き、切れ目のない対応が必要 活や経済の回復のため、 ●コロナ禍における市民生 引

いて市長の考えを伺う。 討状況と新年度予算への計上につ 対策戦略本部からの提案事業の検 口減少対策」について、人口減少 ②本市の最重要課題である「人

の考えを伺う。 が不足していると思うが、 り組み状況など市民への情報発信 配置基本計画について、現在の取 ❸庄原市立学校適正規模・適正 教育長

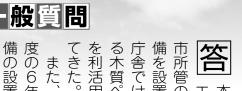
約13億3300万円が配分されて これまで本市に対し、総額 ●地方創生臨時交付金は

> キャッシュレス決済推進プロジェ 施している。 事業については繰り越して継続実 金事業などの対策を講じ、 金事業、子育て世帯応援臨時給付 クト支援事業や雇用維持支援助成 一般財源も活用する中で — 部 の

の協議・検討を進め、 中で、検討班から提案された施策 部において、4回の会議を重ねる 市民生活の安心・安全を守り 済対策と歩調を合わせ、引き続き、 域経済への支援に取り組む。 ❷これまで人□減少対策戦略本 今後においても、 国の新たな経 · 現在、 実施 地

り組みを進める。 果的な事業展開を図ることで「活 にむけた調整を行っている。 力ある庄原市の実現」に向け、 施策を計上し、人口減少抑制に効 少対策戦略本部において立案した 新年度予算においても、 人口減 取

引き続き、情報を発信していく。 はもちろんのこと、市民の皆様へ、 る資質・能力等、保護者や関係者 取り組み状況を発信している。 後の取り組み方や方向性、 校の保護者や地域への説明会等で 徒数の推移、児童生徒に求められ ムページへの掲載をはじめ、 ③これまで、市の広報紙やホー 児童生 今





はやし **林**



着実に実践していく。

原市環境基本計画」に掲げる、

民・事業者・市の取り組み内容を

本市の脱炭素化に向けた 取組について

どのように取り組もうとしている のか伺う。 果ガス排出量実質ゼロ」に対して では、「2050年までに温室効 年6月2日に公布されたが、本市 部を改正する法律が令和3 地球温暖化対策推進法の

る木質ペレットボイラーや地中熱 備を設置するとともに、市役所本 を利活用した空調設備等を導入し 厅舎では再生可能エネルギーであ 市所管の公共施設へ太陽光発電設 本市はこれまで、 エネルギーの導入として、 再生可能

3年度を初年度とする「第3次庁 備の設置補助も行っており、 度の6年間、 また、平成21年度から平成26年 住宅用太陽光発電設

()

M а aSに対する

本市の取組について

が、 的な考えを伺う。 aS」実証運行事業を行っている MaaSに対する本市の基本 現在、 地域2か所で「広島型M 補助金を受けて東城

考えている。 異なるMaaSの仕組みが必要と 山間地域においては、都市部とは 集落や住宅が谷あいに点在する中 ともに進める」こととしている。 の実装に向けた検討を関係団体と 持続可能な交通体系を構築するた いて、「限られた資源を活用し、 本市のように、運行区域が広く、 A ―を活用した予約制バス等 本年5月に策定した 市地域公共交通計画」にお 「庄原

ともに事業の効果や課題などを検 応した仕組みとなるよう検討して 実証運行終了後は、関係団体と 中山間地域の交通課題に対



출 참 참

藤木

声が大きい、子どもの「国民健康

る」と軽減、

撤廃を求める

「子育て支援に逆行してい

永末保育所、 今後の対応について所、永末小学校の

と今後の対応を伺う。 えているが、校舎の改築な 永末小学校区の児童数が増

市長の見解を伺う。

市独自で高

20名程度と見込んでおり、 できている。 ら6年まで各学年の教室の確保は 1学年の児童数は最大でも 教室の使用について、 1年か

し確保できるように計画してい 現在のパソコン教室の一部を改修 菫の増加が見込まれているため 編成については、来年度、 特別な支援を要する児童の学級 対象児

| 18歳まで国民健康保険税の

7 るが、 する国の制度が始まる。 校卒業まで10割軽減すべきと考え 月から未就学児を対象に5割軽減 保険税均等割」を、2022年4 この制度を活用し、

要望していく。 含め、国の責任と負担において行 課題に対する負担軽減については、 重いという国民健康保険の構造的 ことは適切ではないと考えている。 われるべきであり、軽減措置の拡 子どもの均等割軽減措置の拡充を 新たに市独自の減免基準を設ける **充について、市長会を通じて国** について検討が進められており 所得水準に比して保険税負担が 現在、 て、減免基準の統一や時期 広域化の協議におい

○18歳まで医療費助成の拡充を その他の質問

ただのり

ることが望ましいと考えている。

市制施行から何周年という節目

赤木

県内外で庄原市に貢献した 人を名誉市民に

係者の皆様とともに、祝意を表す 討を進めていきたいと考えている。 よう、今後も引き続き、慎重に検 る中で、時期を逃さず顕彰できる さまざまな要素を総合的に勘案す 考えており、御本人の御意向など には限らないが、市民の皆様 ことができる機会が必要であると



見を聴き、議会にお諮りした上で

れれば、

名誉市民選考審議会の意

市民の皆様に認知される方がおら

名誉市民の顕彰については

条例の趣旨に合致し、広く

顕彰をしたいと考えている。

顕彰の時期については、

どで定めたものはないが、

名誉市 条例な

これまでの卓絶なるご功績に対し 民の称号を授与しようとする方の

币を挙げて感謝と敬意を表するこ

とができる場において、

顕彰をす

の研究に努める。

域のニーズを把握した上で、

制度

今後については、

引き続き、

地

特定地域づくり事業 協同組合制度につい 7

を伺う。

伺う。 する事業協同組合の設立、運営の 内外の若者を呼び込むこと、地域 支援を行うべきと考えるが所見を 事業者の事業の維持・拡大を推進 を確保した職場を作り出し、地域 雇用環境と一定の給与水準 本制度を活用し、安定的

選ばず、適時、名誉市民の称号を

力をしていただくためには、時を

その功績と今後さらなる協 ど節目に制定されがちであ 名誉市民は、

市政何周年な

贈ることが重要と考えるが、

市長

の考えを伺う。

の円滑な設立が必須であることか とが重要とされている。 **美者の連携や事務局機能の確保な** によると、制度の活用にあたって 事業の趣旨に賛同する地域事 事業主体となる事業協同組合 運用におけるガイドライン

本市の情報化、 テレビ共聴施設の維持管理 デジタル化につい



五島 まこと **誠** 議員

向けての取り組みについて、

考えている。 の減少や施設の老朽化に伴う修繕 ており、各組合において、 などによる負担増が課題であると 維持管理については、 ぞれの共聴組合で実施され 世帯数 それ

置が講じられるよう、要望を行っ 国市長会からも国に対して提言を ものであり、移行により必要と している。 なったテレビ共聴施設の維持管理 行は、国の施策として進められた に対する財政措置等について、 地上デジタルテレビ放送への移 本市としても、国による支援措

ていきたいと考えている。

〇アウトドア施設活用促進事業に ○学校運営協議会制度について その他の質問 ついて

における課題とその解決に

献立に合わせて決まった日に一定

している。

引き続き、

児童生徒や保護者の

十分に協議を行い、

見直すことと

の少量多品目栽培が主流であり、

規格の野菜を安定的に供給するこ

が難しい状況が挙げられる。

意見を十分に聞きながら取り組む

ことを指導していく。

各給食調理場では、

庄原産食材

立を工夫している。

課題としては、

本市では野菜類

文化や食の歴史も学べるように献

者のニーズ、 う。②学校給食調理場と農家や業 家の所得安定にもつながる可能性 ディネーターなどを配置できない があるが、現状と課題について伺 食の提供に努めており、 使用割合を増やす取組につい 学校給食における庄原産食材 市全体の地産地消率向上、農 た県内産食材を使用した給 ●本市では、 安定供給の仕組みを作れた ❶学校給食で庄原産農産物 課題を調整するコー 圧原産を含め 地域の食



松本 みのり



や使用品目の拡大を図っている。 を計画的に調達できる体制づくり

8か所すべての給食調

議員

されており、 理場に県費負担の栄養職員が配置 安心・安全な給食の提供を基本と ❷現在、 今後も、栄養職員が中心となり、 ターの役割も担っている。

地産地消コーディネ

7

る。

圧原産食材の使用拡大に努め

きる人を育てる生徒指導規程 自ら判断し、 主体的に行動で

のあり方について 配慮し、児童生徒自らが参 児童生徒の人権や主体性に 生徒指導

て伺う。 画できる形での生徒指導規程見直 性について児童生徒や保護者とも ているが、 規程の課題意識や取り組みについ しが広がりつつあるが、 生徒指導規程は、 おいて必要に応じて改正し その場合、 実態や必要 各学校に



に貢献があった現職の市議会議員で、 この表彰は、 本市市議会議員が次のとおり表彰されました。 永年にわたり地域の振興と住民自治の向 通算在職年数が3年

ご功績をたたえ、今後ますますのご活躍を祈ります。

以上の議員が対象となります。

令和3年度広島県市町議会議員知事表彰

堀り 井ぃ

秀で

昭き

隆か

明き

谷に

口ち

が議案等の審査に活用したり、政策へ反映さ 等を把握し意見交換を行うことで個々の議員 もので、市民の皆さんの多様なご意見・要望 せたりすることを目的としています。 市民と語る会は、市議会基本条例に基づく

が5~6会場を受け持ち、各会場に伺いまし

力をいただく中、議員は4班に分かれ、各班

本年度は第1回目となる市民と語る会を、 市民と語る会の概要

11月1日から17日まで21会場で開催し、計

397名の方にご参加いただきました。 開催 にあたり、自治振興区や市内活動団体のご協





地域	地区	開催日	会場班	意見交換テーマ	参加者数			
	庄 原	11月15日(月)	庄原市ふれあいセンター	まちなか活性化	31			
	高	11月 9日(火)	高自治振興センター	地域交通+共通テーマ①②	9			
	本 村	11月12日(金)	本村自治振興センター	自治振興区の位置付け・庄原市の中心 より外れた地域の将来について+共通 テーマ①	18			
	峰 田	11月 1日(月)	峰田自治振興センター	地域生活交通(乗合タクシー)	25			
庄原	敷 信	11月11日(木)	敷信地区民ふれあい広場	共通テーマ①②	9			
	東	11月 8日(月)	東自治振興センター	自治振興区と市役所の役割分担+共通テーマ①②	21			
	山内	11月11日(木)	山内自治振興センター	定住対策+共通テーマ②	7			
	北	11月 5日(金)	北自治振興センター	①旧川北小跡地利用 ②国道432号の 改良工事 ③庄原市の将来像 ④空き 家対策・移住定住	18			
	西 城	11月10日(水)	西城自治振興センター	災害+共通テーマ①②	20			
西城	八鉾	11月 8日(月)	八鉾自治振興センター	林業活性化(川下機能:製材工場等) の市内展開)・人口減少状況と交通事 情の問題	6			
	小奴可	11月15日(月)	小奴可自治振興センター	買い物弱者・交通弱者対策	36			
	八幡	11月16日(火)	八幡自治振興センター	地域交通	15			
	田森	11月17日(水)	田森自治振興センター	人口減少対策	12			
	東 城	11月11日(木)	東城自治振興センター	東城高校の状況+共通テーマ①②	32			
東城	帝 釈	11月16日(火)	帝釈自治振興センター	過疎地における高齢者対策(市民交 通・介護・Uターン施策・農林業の後 継者対策)	28			
	久代	11月 4日(木)	久代自治振興センター	市道久代中央線の早期完成に向けて・ 人口減少対策の取り組み	16			
	新 坂	11月16日(火)	新坂自治振興センター	生活交通・有害鳥獣対策	15			
口和	口和	11月 5日(金)	口和自治振興センター	農業振興(WCS・米価・集落法人の 現状と将来性)・観光振興(モーモー 物産館・鮎の里公園の現状と将来設計)	18			
高野	高 野	11月17日(水)	下高自治振興センター	防災・災害対応+共通テーマ②	19			
総領	総 領	11月 9日(火)	総領自治振興センター	持続可能な地域づくり	27			
			一般会場 20会場 台		382			
団体	比和 やまびこ会	11月17日(水)	比和自治振興センター	過疎対策についての地域づくり+共通 テーマ①②	15			
	総 合 計 (21会場) 3							

※共通テーマ=①かんぽの郷庄原 ②庄原市立学校適正規模・適正配置基本計画

一部を抜粋してお知らせします。 各会場で寄せられた意見から、

共通テーマ

かんぽの郷庄原について

愛見 人口が減少する中、庄原に 関。広く市民から意見を募るこ でもらって利用した時の特典を てもらって利用した時の特典を であるが、地元の人 に多く利用してもらう事が大 に多く利用してもらう事が大

息見 なくてはならない施設だと のか。利益を上げないと修理も のか。利益を上げないと修理も

息見 議会で可決した際に、運営

合弁 それぞれの議員が地元等で

り上げていく方向となっている。話を聞いて判断した。市民で盛

適正配置基本計画について庄原市立学校適正規模・

考える。 も選べる学校選択制にすべきとそれぞれの特徴がある。どちら見 大規模校・小規模校の学校

意見 子どもも自分が通う学校がなくなるのではないか不安を感じる子どもに対して応えるこ感じる子どもに対して応えるこをが出来ない。子どもたちが不安を感じるかが出来ない。子どもためができたが出来ない。子どもに対して非常につらい。計画に期限がないことが出来ない。ことが出来ない。

(ほしい。 しい。子どもたちに安心を与え 子どもたちの心をわかってほ











地域生活交通について

を考える時期にきている。 る。維持ではなく、ニーズに対 気を運んでいるような現状であ 路線バスは学生等利用以外、空 してどうやって組み立てていく 新しい生活交通のシステム 地域によってそれぞれ課題 免許返納者は増えている。

なければならない。 全体的に統一した方向で解決し がある。個別の状況をふまえ

|農林業・有害鳥獣対策について

ように議会を通して市に働きか を強化してもらいたい。 合って大きな製材工場をつくる などを巻き込んで、資本を出し けてもらいたい。特に乾燥技術 市とウッドワン、森林組合

意見 庄原の比婆材をどのような 森なども巻き込んで、 話をしていただいて、アサヒの 方向で売り込んでいくのか、行 森林組合、専門家で 方向性を

> 答弁 議会としても、現状認識し 出してほしい。 どをしているが、慣れてすぐ い。農業を辞める人が増える。 く来ない。巡回も増やしてほし やってくる。銃の音だとしばら ほしい。地元はロケット花火な い。研究してみたいと思う。 た上で考えるようにしていきた 人間を中心にやってもらいたい。 サル駆除の専従を増やして

■防災・減災対策

意見 指定避難所、一時避難所に ついては、地域の集会所などを



てほしい。

■地域振興・自治振興区

なっていることから、「特定地 導入に積極的に参加してもらい は、県や市の協力が必要であり て研究し取り組みを進めようと 域づくり事業協同組合」につい いていろいろなことができなく している。この事業を進めるに 人口減少により、地域にお

う考えてほしい。 齢化も進み、なり手がいない。 先と考えているのではないか。 像が見えない。意欲向上するよ 事務員の給料も安い。地域将来 事務仕事量が年々多くなり、高 市は、自治振興区を市の出

利用したいが、土砂災害危険区 来てほしい。 興区で避難所等の周知を行って 域であるので出来ない。自治振 いるが、毎年市役所から説明に

るので、まずはその確認を行っ るなど、非常に細かな指示が 入っており、各戸に配付してあ は家ごとの避難方法が記載され 以前配付した防災マップに



ている。昔のように地域で支え 合う精神を大切にしたい。

■その他

意見 「庄原は何もないけぇつま らんのぉ」といった話や、大人 うに、大人が伝えて発信してい 子どもたちに思ってもらえるよ の口からそんな言葉が出るのは く必要があると思う。 どうかと思う。庄原が好きだと

接お伺いし、意見交換ができる身近 いります。 な市民と語る会となるよう努めてま 今後も市民の皆さんのご意見を直

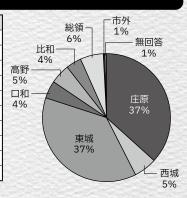
自治振興区の負担は理解し

会場で配付回収した市民と語

回答総数352人(回答率:89%)

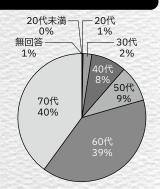
●住まい

地域	回答数
庄原地域	130
西城地域	20
東城地域	132
口和地域	16
高野地域	17
比和地域	14
総領地域	21
市外	1
無回答	1
合計	352



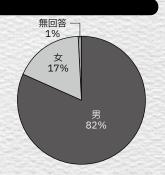
●年代

年代	回答数
20未満	0
20代	1
30代	8
40代	31
50代	33
60代	138
70以上	140
無回答	1
合計	352



●性別

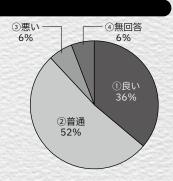
Marie Contract Contra		
性別	回答数	
男	288	
女	62	
無回答	2	
合計	352	



市民と語る会の内容について

●意見の出しやすさ

回答数
128
182
22
20
352



●答弁のわかりやすさ

回答	回答数
①良い	98
②普通	203
③悪い	27
④無回答	24
合計	352

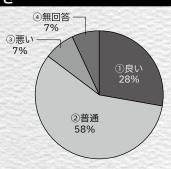
いたい。

議員の方の日常の活動について、最近、SNSなどを

活用した情報発信があり、活動内容や考え方がわかる

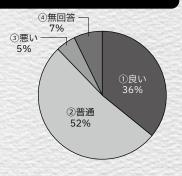
より多くの議員の方の情報発信を期待していま

ので、



●全体の感想

回答	回答数
①良い	127
②普通	182
③悪い	18
④無回答	25
合計	352
	①良い ②普通 ③悪い ④無回答



市民と語る会の開催、 ならびにアンケートにを協力いただき ありかとうをざいました。

庄原市議会についてのご意見 議会は住民の代表であることを心に止め頑張ってもら

市民と議員の距離が縮まる取り組みを期待します。 抜粋

市民と語る会の内容についてのご意見 らの語る会は充実した内容であったと思う。 のためには議員間の討論を活発化してほしい。 これまで議会報告会へ何回か参加してきたが、

抜粋

議会の役割を明確化し、議会としての意見を行政に対行政ではないので、行所自分としての意見を行政に対 市民の意見を受け止める場として良いが、来ること できない人も言えない人もいるので、 行政ではないので、行政的答弁はできないが、議員と 所で耳を傾けてほしい。 できるだけ個

定定い日

報告します。 委員会の活動状況を

教育民生常任委員会

正規模・適正配置ほか 教育条件整備について (学校適

頑張っている児童と教師という雰 囲気を感じました。 生5人が一緒に授業を受けており、 想像をはるかに超える少人数の複 庄原小学校の視察を行いました。 学校と、 複式学級のみで授業を行う粟田小 計画について調査しています。 市立学校適正規模・適正配置基本 式学級でした。1年生1人と2年 11月15日に全学年で3クラスの 全校児童18名の粟田小学校では 教育民生常任委員会では、 市内で一番児童数の多い 庄原

り組んでおり、 な授業と感じました。 の授業は、児童も興味を持って取 ットを使った地域活性化について の通学を意識した6年生のタブレ 意見がありましたが、広範囲から のか疑問、教室が狭く感じるとの 広さが児童数に対して適正規模な 庄原小学校に関しては、 大規模校の特徴的 教室の

今回の視察は、

小規模校と大規

残す意義は何か、具体的事象に基 模校に関しては、地域に小学校を なら存続できる方向性を示すべ づいた議論を通して、存続させる 点検する意味もありました。小規 模校が抱える、 相反する課題を再



粟田小学校視察の様子

庄原小学校視察の様子

料館の視察を行いました。

資料館の建物は、昭和38年3月

設され、今後の施設維持に多くの 課題を抱えています。外壁の多数 る木製の窓枠、 に庄原格致高校口和分校として建 イレ、さらに、 のクラックや、 **えるとセキュリティー対策も必要** 落下の危険性のあ 収蔵品の価値を考 快適とは程遠いト

として現在に至っています。 での展示がされるようになり、 部博良氏によって、古い音響機器 国的にも有名な音響機器の資料 や映像機器が修復され、 ことです。 この資料館の最大の課題は、 平成15年に館長に就任された安 施設運営をどうするかというの資料館のよう 動く状態 全 館

何ができるかという議論はこれか 提言します。 同が胸襟を開いて語り合うことを らも行いますが、まずは関係者 であると考えます。 委員会として

ついて 博物館・資料館の現状と課題!

について、 た、博物館・資料館の現状と課題 12月定例会から調査項目にあげ 12月16日に口和郷土資



外壁の視察を行う



音響機器・映像機器の説明を受ける

地域の郷土資料館としての存在意 義がより発揮されると考えます。 や生涯学習課と連携することで、 そして、これまで以上に口和支所 資料館後援会の充実など、グルー 蔵物管理部門、 ソ化した組織にすべきと考えます。 引き続き、市内の博物館や資料 建築物管理部門、

館について調査を続けてまいりま

令和3年 議会活動一年間

■本会議

-	_	回数		1	2	3	4	5	6	計
	_		/3	5 50					_	
会議区分		定例会	臨時会	定例会	定例会	臨時会	定例会	6		
:	会	期日	数	26日間	1日間	22日間	27日間	1日間	22日間	99日間
I	開	催	日	2月15· 24日、 3月5·8· 9·12日	4月 27日	6月7·23· 24·25· 28日	9月3·21· 22·28· 29日	11月19日	11月29日、 12月13・ 14・15・ 20日	_
		条	例	15	1		7	1	3	27
審		予	算	36		3	4	1	9	53
審議案件		発	議	3		2	3	1	3	12
一个		請	願							0
		その	他	53	9	4	23	1	4	94
		計		107	10	9	37	4	19	186
	原案可決		91	1	7	19	4	19	141	
	修正可決		可決							0
		同	意	12	1	2	2			17
		承	認	1	2					3
審		選	任		2					2
議		許	可							0
結		認	定				16			16
果			h							0
		否	決	1						1
		採	択							0
	請	趣旨	採択							0
	原	不	採 択							0
	.,,		審査							0
-	継	続 審	查							0
:	選		挙	2	4					6
	議」	員出席	率	94.2%	100%	100%	99%	100%	100%	98.3%

■常任委員会

常任委員会	区分	回数		出席率			
币口安貝云		開会中	閉会中	開会中	閉会中		
総務	委員会	4回	_	100.0%	1		
	調査会	_	1回	_	83.3%		
教育民生	委員会	7回	4回	100.0%	100.0%		
秋月氏王 	調査会	_	6回	_	97.2%		
企画建設	委員会	9回	4回	96.8%	100.0%		
正凹建改	調査会	_	2回	_	100.0%		
予算決算	委員会	9回	2回	98.2%	97.4%		
丁异次异	調査会	_	_	_	_		



■予算決算常任委員会 分科会

分科会	区分	回数	出席率			
総務	令和2年度決算	4回	100.0%			
	令和3年度予算	5回	100.0%			
教育民生	令和2年度決算	4回	95.8%			
	令和3年度予算	4回	100.0%			
企画建設	令和2年度決算	4回	100.0%			
	令和3年度予算	4回	89.3%			

■その他

	回数	出席率
議会運営委員会	29回	96.6%
議員全員協議会	16回	97.8%
議会広報委員会	8回	97.9%

議会の動き 11・12・1

11 月

2日 企画建設常任委員会

9日 議員全員協議会

12日 議会運営委員会

15日 教育民生常任委員会

(管内視察)

17日 議員全員協議会

19日 第5回市議会臨時会

企画建設常任委員会 教育民生常任委員会

22日 議会運営委員会

29日 議会運営委員会

第6回市議会定例会

本会議

委 副 日本 日 長 員 長

員 長

30日 企画建設常任委員会

12月

2日 予算決算常任委員会 総務常任委員会

教育民生常任委員会 企画建設常任委員会

13日 議会運営委員会

第6回市議会定例会 2日目

14日 第6回市議会定例会 3日目

15日 第6回市議会定例会 4日目

予算決算常任委員会

16日 教育民生常任委員会

(管内視察)

企画建設常任委員会 教育民生常任委員会

20日 議会運営委員会

第6回市議会定例会 最終日

議員全員協議会

議会広報委員会

1月

6日 総務常任委員会

11日 教育民生常任委員会

議員全員協議会

19日 議会運営委員会

24日 議会広報委員会

27日 総務常任委員会

3月定例会の

日にち 2月22日(火)

3月14日(月)

3月15日(火)

3月16日(水)

3月23日(水)

主な日程 (予定)

初日

主な会議名 本会議 本会議【一般質問(代表)】 本会議【一般質問(個人)】 本会議【一般質問(個人)】

※予定のため、変更となる場合があります。

詳しくは議会事務局(☎0824-73-1162)へお問い合わせください。 本会議は、いずれも午前10時から開会の予定です。

本会議生中継映像をインターネット上で配信しています。 録画映像もご覧いただくことができます。ぜひご利用ください。

庄原市議会 中継



任委員会に付託となりました。 、・フォーレ庄原」の指定管理 が取得し、市民からネーミン 取得等事業などの追加補正予 募集して決定した「桜花の郷 委員会では、議員から様々な 『サンヒルズ庄原』に指名 かんぽの郷施 企画建設

成多数で本年4月から3年間サ決とし、本会議においても、賛 ろですが、新たなスタートとな ヒルズ庄原の指定管理が決 準備を進めて リニューアル

《表紙写真の説明》





今回の表紙写真は市内で行われ たとんどの様子です。

イルス感染症の収束が見通 併せて、現在、新型コロ 日も早く平穏な生活が取り戻せ 穏やか春の訪れと共に1 五桂林赤島藤木 います。 和高忠誠夫正德 せなな

[発行] 庄原市議会 〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10番1号 ☎0824-73-1162 FAX0824-73-1246 〔編集〕議会広報委員会 〔印刷〕シンセイアート株式会社